

第1回定例会

区政をただす

一般質問

区長の施政方針を問う

自由民主党議員団 ぐさひ 良輔



①中野区自治基本条例では、「活力ある区政運営を実現するため、区長の職にある者は、連続して3期を超えて在任しないよう努めるものとする」と多選自粛規定を設けている。この条例は区長の提案により区議会などで議論を重ねた上で制定されたものであるが、提案者である区長自らが3期を超えて4期目を目指すことは極めて重大な方針変更である。条例の議決を求めた区議会に対し十分な説明責任を果たした上で、条例改正に向けた手続きを取るべきでは。②

待機児童ゼロを実現することは、安心して子育てができるまちを実現することである。待機児童対策は施設面での拡充はもとより、利用者の利便性、負担感にも目を配るべきである。認証保育所等保護者補助金は、保護者が認証保育所を利用しやすくなるため支払い回数を増やすなどの改善が必要では。③障害者の就労支援は、今後ともさらに取り組みを強化すべきと考えるが、区の見解は。④消費税率の引き上げは、区財政の歳入歳出に大きな影響を及ぼすと考える。この影響

を平成26年度予算案においてどのように反映したのか。⑤消費税率の引き上げに伴う、今後の区財政の課題は。

区長 ①一連の経過に対するはじめとして、多選自粛規定のあり方について何らかの対応を考えたい。②来年度から支払い回数を増やすよう検討している。③区内の企業などに対し、実習生の受け入れを働きかけるなど、新たな雇用の場の創出に向け就労支援のさらなる強化に努めたい。④歳入が7億円の増となる一方で、歳出は消費税の負担増を7億円と見込んでいる。⑤厳格な財政規律を保持しながら、持続可能な財政運営を行うっていくことが重要である。

切実な区民要求に応えた 新年度予算を編成せよ

日本共産党議員団 長沢 和彦



①新年度予算案では積立金が約62億円と近年にない積立金額になっているが、年度間調整分は14億円の繰り入れで済む。高齢者や障がい者等を狙い撃ちした廃止や負担増を改めるべきでは。②区の区役所移転は、まちづくりを進めるにあたって邪魔だからどうかという発想である。区役所の位置の変更は地方自治法でも慎重であるべきとの趣旨がある。サンプラザとの一体開発は見直すべきでは。

子育て支援施策を充実させよ

区長 ①予算編成にあたっては、歳入歳出規模を一定に保つ安定的な財政運営を行うっており、区民生活にとって必要な事業は予算に計上した。②区役所とサンプラザ地区は、東京の国際競争力強化の一翼を担う重要な地区として、一

体的な再整備を進めていく。庁舎業務を継続しつつ効率よく建て替える方法としても、別の場所への移転が望ましい。③学童クラブの待機児童は増えている。区は待機児童に対して、定員の空いている他の学童クラブを紹介するとしているが、通えない児童も存在し、保護者の不安も大きい。区は保護者の声にどう対応するのか。④現行の認証保育所等保護者補助金は、半年に一度の支給となっており、保護者の負担が大きい。補助金の支給の仕方を改善すべきでは。⑤区全体としては

①貸付物件を活用した認可保育園は、保育需要の高い地域に好適物件があるとは限らない点が課題だ。区は物件情報を把握しているのか。②子ども・子育て支援事業計画に於けるニーズ調査の結果を受け、26年度予算で実施予定の保育事業以外にも、ニーズに

子どもの貧困対策を進めよ

区長 ①保育事業者などから問い合わせがあり、ある程度の情報は把握している。26年度も保育需要の高い地域への誘致のため、情報提供などを行っていく。②子ども・子育て支援事業計画策定のため調査を実施した。この結果を踏まえ対策を検討していく。

法に係る施策は、今後制定される「子どもの貧困対策に関する大綱」や都の動向を見極め、子ども教育部で対応する。災害時避難行動要支援者個別計画策定にノウハウを活かせる。個別計画策定に、在宅人工呼吸器使用者災害時個別計画の作成手引きの関係者連絡リストや、安否確認方法などのノウハウを活用しては。

区長 貧困の連鎖を断ち切るには、制度を有効に機能させる組織体制が重要だが、検討状況は。子どもの貧困対策の策定に活用していきたい。

払い回数増加を検討している。

高齢者向け良質住居の確保を

区長 ①年金しか収入がない生活困窮者が増えており、低廉で良質な住宅の確保は重要かつ喫緊の課題である。区として責任を持って供給すべきでは。②住まいのセーフティネットとして都営住宅の必要性は高い。都に対し、都営住宅の増設を要望すべきでは。

区長 ①行政による手法

区長 ①条例の多選自粛の規定は重く受け止めている。道半ばの区政に責任を果たすことが区民に対する責任として最も重要と考えている。

東中野区民活動センター等整備基本方針(案)を問う

区長 ①敷地全体の約6〜7割を売却する方針案は、地域の理解を到底得られない。学校跡地は区民の貴重な財産であ

自治基本条例の3期12年の多選自粛規定を守れ

中野区議会民主議員団 酒井 たくや



区長は自治基本条例で区長の任期を3期12年とする努力規定を定めた。①区長は3期目の選挙公報で「多選制限」を成果と示した。自ら提案した条例を破り、4期目に挑む見解は。②区の条例に区民の努力規定が多数あるが、区長が自ら定めた努力規定を破ろうとする中、条例の重みと区民への説明をどう考えるのか。区長 ①条例の多選自粛の規定は重く受け止めている。道半ばの区政に責任を果たすことが区民に対する責任として最も重要と考えている。

区長 ①子ども遊び場

区長 ①子ども遊び場や地域行事が可能な広さ1200㎡を確保している。②地域の人口規模、学校跡施設の暫定活用を含めた利用状況を勘案し、延べ床面積を確保したが、避難所に必要な施設規模ではなく、解除を決めた。

高齢者や女性に光を当てた 就労施策を推進せよ

公明党議員団 久保 りか



区長は施政方針説明で、少子高齢化が進む中、高齢者や女性などすべての人に働く場を用意することの重要性を述べた。今後、両者に対する就労や地域での活躍の場を提供する施策を展開すべきでは。区長 高齢者や女性がサービスを創り出す側となり経済的安定などを得ながら、経

子ども・子育て支援新制度でも、病児保育施策の充実が期待されている。区医師会などと協議し、連携を確保して病児保育を推進すべきでは。

働く保護者が望む 病児保育の推進を図れ

子ども・子育て支援新制度でも、病児保育施策の充実が期待されている。区医師会などと協議し、連携を確保して病児保育を推進すべきでは。

待機児童ゼロ対策を進めよ

区長 ①賃貸物件を活用した認可保育園は、保育需要の高い地域に好適物件があるとは限らない点が課題だ。区は物件情報を把握しているのか。②子ども・子育て支援事業計画に於けるニーズ調査の結果を受け、26年度予算で実施予定の保育事業以外にも、ニーズに

子どもの貧困対策を進めよ

区長 貧困の連鎖を断ち切るには、制度を有効に機能させる組織体制が重要だが、検討状況は。子どもの貧困対策の策定に活用していきたい。

「区議会だより」は各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみなさまのお手元にお届けしています。また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。
【問合せ】区議会事務局 電話3228-5585

「会期中」をお知らせしています

中野区議会では、区議会正面玄関等に「中野区議会会期中」の横断幕を掲示して、定例会の開会を区民のみなさまにお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。

